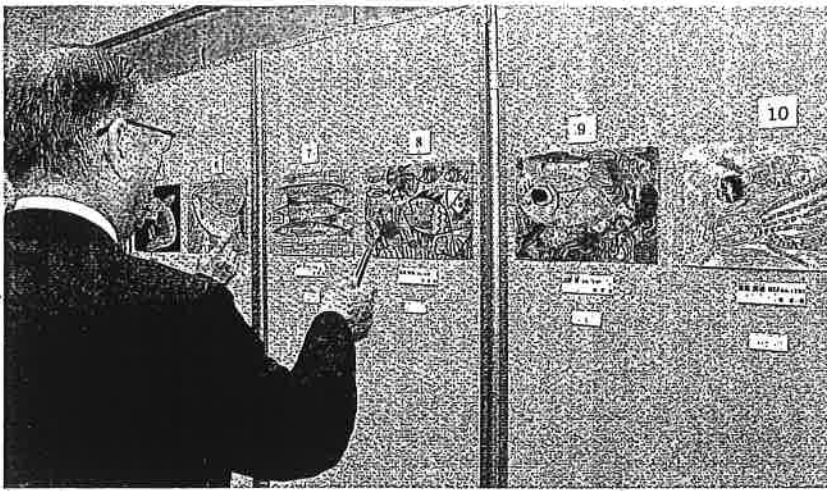


根室の魚生き生き

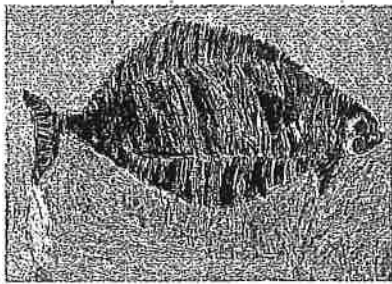
こども 宮里弦虎ちゃん最優秀 絵画コン

【根室】第5回おさかな大賞根室こども絵画コンテスト審査会が6日、根室市総合文化会館で開かれた。根室自慢の魚や海のある風景を広く公募しているコンテストで、全国から251点の力作が集まり、最優秀賞にはタコと泳ぐ少年を描いた東京都の宮里弦虎ロミちゃん(5)が選ばれた。(山本繁寿)

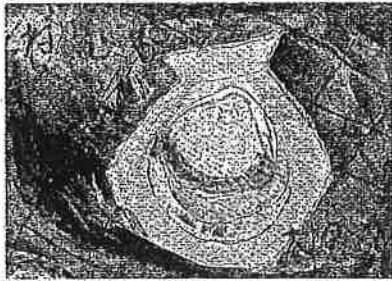


審査をする石垣市長ら。右端が最優秀賞、右から3番目が市長賞作品

全国の小学校入学前の幼児から「大好きな根室とお魚さん」をテーマに募集しているもので、東京都内で幼児教室など開いているアンテナ・プレスクール(石井至校長)が主催し、根室市が共催。全日空や釧路新聞社など8社・団体が協賛



特別賞の橋実央ちゃんの作品



釧路新聞社賞の野口陽翔ちゃんの作品

し、それぞれの代表が審査員を努めている。応募作品は根室市内から195点、他の道内8点、道外48点(東京24点、愛知県4点、岩手県3点など)。最優秀賞の宮里さんには副賞に全日空の国内往復航空券と宿泊券(ペア1組)が

贈られる。根室市内から選ばれる全日空特別賞にはカレイの色合いを上手に表現した橋実央ちゃん(6)が選ばれた。副賞は釧路羽田往復航空券(ペア1組)と東京宿泊券。花咲ガニが当たる根室市長賞は根室の豊富な魚介を水族館のように描いた東京都の櫻村紗幸ちゃん(6)、釧路新聞社賞は「ねむろのホタテ」というタイトルでおいしそうに描いた愛知県

の野口陽翔ちゃん(6)が選ばれた。石垣雅敏市長は「年々バラエティーに富んだ作品が集まるようになった。根室の魚を食べてもらい、さらに絵を描くことが好きになってくれたらと思う」と講評していた。表彰式は来年2月、東京の京王プラザホテルで開かれる「ねむろグルメと交流イベント」で行われる。他の賞は次の通り。

- ▽北海道観光振興機構賞 田中心愛(根室市)▽北海道新聞社賞 鎌田このは(標津町)▽根室交通賞 北村青(東京都)▽根室ハイヤー組合賞 志田原大晴(愛知県)▽大地みらい信金賞 上田新(東京都)▽根室はなまる賞 吉田咲菜(東京都)

令和5年10月9日(月)
釧路新聞